

同人

林 大 吉 太 高 武 辻 中 中 成 梅 野 山 鴻 香 齋 祐 森
 西 永 幸 安 智 部 西 池 本 間 本 瀨 野 西 藤
 秀 重 孝 施 吸 鐵 太 太 孝 無 重 光 修 幸 西 清 田
 雄 孝 雄 門 江 二 郎 郎 一 極 信 辰 二 武 精 郎 雄 雄
 雄 孝 雄 門 江 二 郎 郎 一 極 信 辰 二 武 精 郎 雄 雄

編輯室より

◇……二代目豊澤新左衛門の逝去は斯道の大きな損失である、世間の關心は或は新聞紙上に於ける數行の報道に僅かばかり哀惜の翳をかけらせたばかりかも知れないが、本誌はその使命を完全に全うする爲め、特に追悼の特輯頁を設けた。

◇……鴻池幸武氏の新左衛門論、文樂座入座の幹旋に努められた八木善一氏の文樂座初出勤の経緯、藝道修行六十年の交友を持つ鶴澤道八の思ひ出など、新左衛門が斯道に残した足跡を記録する好文字たるを自負するものである。

◇……内海繁太郎先生より襲名私見の一篇を頂戴した、近年、相次いで行はれた太夫、三味線、人形遣の襲名に對して頂門の一針を投げられると共に今後の覺悟を促されたものである。先生が本誌に寄せられた御厚意を誌上を以て深謝す。

◇……因協會が若手の技藝向上を計る目的を以て昨年より着手した若手技藝獎勵會の第五回が、四月廿六日岡島會館に開催された斯道に携はるものは斯道の爲めに精進することが、即ち時局下に於ける銃後の務めである。曩に歸還した濱太夫に續いて人形の玉男も元氣で舞台に立つてゐる。

淨瑠璃雜誌 第四百十九號

(昭和十八年 五月號)
 (毎月一回二十日發行)

●本誌定價
 一部 金五十錢(送料四錢)
 六部 金三圓(送料共)
 十二部 金六圓(送料共)

○御注文は一切前金の事
 ○雜誌發送を以て領收證に代ゆ
 ○外國送りは一冊に付郵税十錢を要す
 ○振替は浪花名物淨瑠璃雜誌社。
 ○座大阪二二九二八番

廣告料

普通 一行 金三十錢
 一等 一行 金二十圓
 二等 一行 金二十圓
 特等 一行 金三十圓

○特等は一行以下の需に應ぜず六回以上の特約には割引す
 ○製版を要する時は其費を申受く
 ○廣告料は總て前金の事
 ○一行九ポイント活字

發行所 大阪市西成區千本通二ノ三二

編輯人 樋口 虎之助

印刷所 大阪市西區江戶堀下通四ノ三〇 坂口 秀吉

印刷所 大阪市西區江戶堀下通四ノ三〇 高尾 印刷所

發行所 大阪市西成區千本通二ノ三二 淨瑠璃雜誌社